

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-92	小学校	社会科	社会	第4学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	社会 407	小学社会 4		

## 1. 編修の基本方針

### 学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。  
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書を作りました。



この教科書は、人々が幸せに生きていくためには「どうなることがよいか」と子どもが粘り強く調べ、考え、意見を表明していくことができる過程を大切にしています。  
多様な人々と対話を重ね、理解を深め合いながら、考えることをあきらめない子どもが育つことを願って編集しました。その特色は以下のとおりです。



#### 特色1

「調べたり考えたりする力」がつく教科書



- ① 「問題解決的な学習」の進め方が身につきます。
- ② 「社会的な見方・考え方」を働かせた学びを促します。
- ③ 対話的な学習を促し活発な表現活動につなげます。

#### 特色2

「主体的に楽しく学べる」教科書



- ① 選んで活用できる教材やデジタル・コンテンツが関心や意欲を高めます。
- ② 「見通し」をもって追究を進められるようになっていきます。

#### 特色3

「社会とつながる」子どもを育てる教科書



- ① 社会に生きる多様な人たちの姿から学べます。
- ② 「持続可能な社会」の実現に向けた「選択・判断」や「構想」などの場面を充実させました。

# 特色1 「調べたり考えたりする力」がつく教科書

## 1 「問題解決的な学習」の進め方が身につきます。

**つかむ** この時間の問い  
**調べる** 家庭や学校では、  
**まとめる** 地震や津波にそなえて  
**つなげる** どのような取り組みを  
 しているだろう。

各見開きの左ページに「この時間の問い」を掲載し、学習が「問い」で展開していく流れを重視しました。

**p.84・85**

家庭や学校での取り組みを調べよう。地域で地震や津波が起こるおそれがあることを知ったゆうまさんたちは、自分たちの家が自然災害にどのようにそなえているのかを調べて、話し合いました。

「家では、地震で揺れたり、家具が倒れたりしないように、固定しているよ。」  
 「家族がわかる場所に、非常食や薬などを入れた防災セットをひかんでいるよ。」  
 「水道や電気があるところから、防災セットには、ペットボトルに入った水や、かいちゅう電灯、けいたいラジオなども入れているね。」  
 「地震がおきたときは、学校へひんするんことを家族と約束しているよ。学校でも地震や津波にそなえていることがあるんだ。さらに、学校で防災訓練についても話し合いました。」

**学習問題**

「地震や津波のとき、学校はひん地になるよ。だから学校には多くの非常食や水、毛布などがほかにあるんだね。」  
 「毎年行っているひん地訓練も、地震や津波にそなえるためのものだね。」  
 「本だんの転とつ防止をしたり、防災グッズなどのきん急のじゆんびをしているのは、家も学校も同じだね。」  
 「地域でもひん地訓練を行っているよ。学校のほかにも、ひん地はあるのかな。」  
 「ゆうまさんたちは、話し合ったことももとに、クラスの学習問題をつくりました。学習問題について

**学びのびき**

わたしたちの地域では、地震や津波にそなえて、だれがどのような取り組みをしているだろう。

各単元の「つかむ」場面に「学習問題」をつくる活動を位置づけています。

1単位時間の内容を基本的に1見開き(2ページ)で構成しています。



**次につなげよう**

市は、地震や津波に対してどのようなそなえをしているのかな。

**この時間の問い**

市は、地震や津波にそなえてどのような取り組みをしているだろう。

**次につなげよう**

地震や津波にそなえる市の取り組みについて、もっと知りたいな。

**p.85~87**

見開きの右ページ下部に「次につなげよう」を掲載しています。各時間の「問い」がつながり、単元を通して一貫した追究を進められます。

巻頭に「社会科の学習の進め方」の広く活用しやすいモデル図を掲載し、問題解決的な学習の流れがわかるようにしました。

**社会科の学習の進め方**

**つかむ** 学習問題をつくる  
 ・「つかむ」でつかむべき問いを、教科書の問いから選んだり、自分自身で考えたりして、学習問題をつくる。  
 ・教科書の問いを参考に、自分自身で考えたりして、学習問題をつくる。

**調べる** 学習問題の紙に付けて調べよう  
 ・教科書の問いを参考に、自分自身で考えたりして、学習問題をつくる。  
 ・教科書の問いを参考に、自分自身で考えたりして、学習問題をつくる。

**まとめる** 学習をまとめる  
 ・調べたことを整理して、自分の考えをまとめる。  
 ・調べたことを整理して、自分の考えをまとめる。

**つなげる** 次につなげる  
 ・調べたことを整理して、自分の考えをまとめる。  
 ・調べたことを整理して、自分の考えをまとめる。

## 2 「社会的な見方・考え方」を働かせた学びを促します。

**社会科で使う見方・考え方**

次のことに気をつけて、学習していきましょう。

**時期的な変化** 時期的な変化は、どのように変わってきたのかな。

**くらべる** 市の人口の変化と、家の使用の変化をくらべて、二つの家の異同を見つけてみよう。

**関連づける** 別の見方・考え方を、別の見方・考え方に結びつけてみよう。

**場所や広がり** 別の南西側に大きな平野が広がっている。

**くふうやかかり** 道路や鉄道が集まっているのは、別の見方・考え方があるのかな。

**総合する** 地震にそなえて、どんな人たちが「協力」しているのかな。

巻頭の「社会科で使う見方・考え方」で、視点や方法を、キャラクターのふきだしが具体的に、わかりやすく例示しています。

**p.97**

ここでは、地震や津波にそなえる人々や関係機関の協力など、**くふうやかかり**に注目して学習してきたね。

学習を通して、どのような「見方・考え方」を主に働かせたかを、キャラクターのふきだしでふり返ります。

## 3 対話的な学習を促し活発な表現活動につなげます。

**学びのびき**

**デジタル紙しばいを作って、しようかいる**

①阿波人形浄瑠璃のみりよくを伝えるためのストーリーを考える。

②調べるときにとった写真や動画から、みりよくが伝わるものを選ぶ。

③プレゼンテーションソフトを使って、ストーリーと、写真や動画を組み合わせ、紙しばいの形にする。

④紙しばいを発表して、みりよくをしようかいる。

**p.129**

**学びのびき**

**デジタル紙しばいを作って、しようかいる**

調べたことを、これからの自分の生活に活かそう。

調べたことを、これからの自分の生活に活かそう。

調べたことを、これからの自分の生活に活かそう。

「まとめる」ページでは、「思考ツール」などで学習を整理してふり返り、考えを伝える対話的な学習を多様に例示しています。

**p.96・97**

# 特色2 「主体的に楽しく学べる」教科書

## 1 選んで活用できる教材やデジタル・コンテンツが関心や意欲を高めます。



地域の必要に応じて**選択して活用できるページを充実**させました。

- 自然災害から人々を守る活動
  - 地震・津波災害 (p. 82-97)
  - 水害 (p. 98-109)
  - 火山災害 (p. 110-111)
  - 雪害 (p. 112-113)
- 地域の発展に尽くした先人の働き
  - 開発 (p. 130-151)
  - 教育 (p. 152-153)
  - 医療 (p. 154-155)
  - 文化 (p. 156-157)

ほかに…

- 人々の健康や生活環境を支える事業
- 県内の特色ある地域



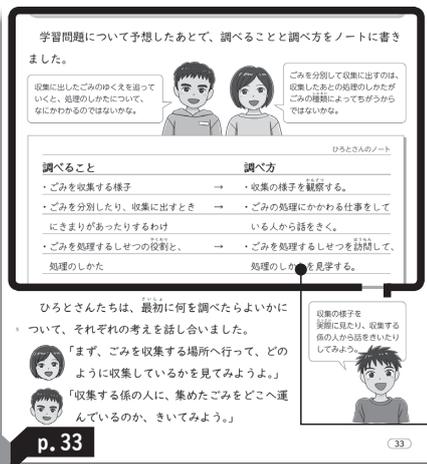
紙面に印刷された二次元コードから子ども自身が活用できるデジタル・コンテンツに簡単にアクセスできます。

- 動画
- ワークシート
- 資料の読み取り支援
- クイズ式教材



ここからアクセス ↑

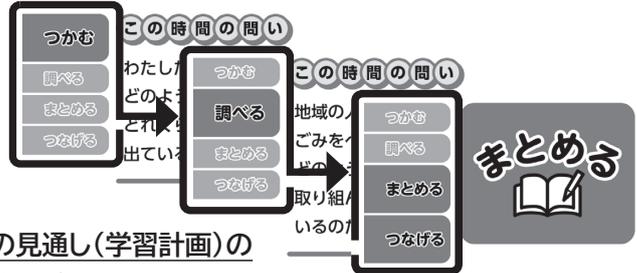
## 2 「見通し」をもって追究を進められるようになっています。



- 学習の進め方をふり返ろう
- みんなで話し合っ、学習問題をつくることができたかな。
  - 予想をもとにして、学習計画を立てることができたかな。
  - 予想と照らし合わせながら、調べることができたかな。
  - はじめにつくった学習問題を、解決することができたかな。

巻頭のモデル図で、「**学習の進め方**」をふり返る視点を例示し、学び方の改善につなげられるようになっています。

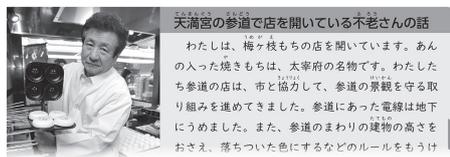
学習が今の段階にあるのかを毎時、インデックスで確かめられるようにしました。



「つかむ」場面では**追究の見通し(学習計画)の立て方を丁寧に例示**しています。

# 特色3 「社会とつながる」子どもを育てる教科書

## 1 社会に生きる多様な人たちの姿から学べます。



実在する**人物のインタビュー**を多数掲載(第4学年で75か所)しました。その思いにも触れながら臨場感豊かに紹介しています。

## 2 「持続可能な社会」の実現に向けた「選択・判断」や「構想」などの場面を充実させました。



社会的な「**選択・判断**」や、地域や社会のこれらについて「**構想**」する学習場面を、「**つなげる**」として充実させました。



「**SDGsとつなげて考えよう**」は、地域や社会、暮らしのあり方のこれらについて考えることを促します。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点と特色	該当箇所
前の学年をふり返ろう 社会科で使う見方・考え方 他の教科などのかかわり 社会科の学習の進め方	・第3学年の学習を想起するページを設けて、第4学年の学習へのスムーズな接続を図り、関心や意欲を高めることができました。〈第1号〉 ・社会科と他の教科等との学習連携を示した「他の教科などのかかわり」を掲載して、横断的な学びに向けて意欲を高められるようにしました。〈第1号〉	p.4 p.5
○広げてみよう、市から県へ ○みりよくがいっぱい！ 知りたいたい、47都道府県	・47都道府県について、日本各地の史跡や祭りなどと関わらせて関心や意欲を高めながら学習することを通して、伝統や文化を尊重する態度が養われるようにしました。〈第5号〉	p.8-13
1 県の地図を広げて	・県の地形や土地利用について学習することを通して、自然環境と人々の暮らしの関わりに気づくことができました。〈第4号〉	p.14-27
2 健康なくらしとまちづくり 1 ごみはとどこへ 選択 2 水はどこから 2 なくらしと電気	・ごみの処理が環境に負荷をかけることなく行われている様子を捉えることを通して、環境の保全に寄与する態度が養われるようにしました。〈第4号〉 ・ごみの減量化や節水のために自分たちにできることを考えて選択・判断する活動を通して、社会の形成に参画する態度が養われるようにしました。〈第3号〉	p.30-49 p.70-71
3 自然災害に備えるまちづくり 選択 ○地震にそなえるまちづくり ○水害にそなえるまちづくり	・自然災害から暮らしや地域を守るために、行政や自治会、民間企業などが協力して対策に取り組んでいることを学習しながら、主体的に社会の形成に参画する態度が養われるようにしました。〈第3号〉	p.80-109
4 地域で 受けつがれてきたもの	・地域の伝統的な行事が大切に受け継がれてきたことを捉える多様な資料を掲載し、伝統と文化を尊重する態度が養われるようにしました。〈第5号〉 ・地域の伝統行事や文化財を継承していくうえで大切なことを考えて選択・判断する活動を通して、社会に参画する態度が養われるようにしました。〈第3号〉	p.114-129 p.129
5 昔から今へと続く まちづくり	・先人の努力によって発展してきた地域に愛着を抱くと共に、社会の形成に参画する態度が養われるようにしました。〈第3号〉〈第5号〉	p.130-151
6 わたしたちの県のまちづくり 1 焼き物を生かしたまちづくり 選択 2 昔のよさを未来に伝えるまちづくり 2 自然を生かしたまちづくり 3 国際交流がさかんなまちづくり	・様々な仕事や立場の人々が互いに協力しながら地域の発展・振興に努めている様子を「○○さんの話」などから共感的に読み取ることを通して、勤労を重んずる態度が養われるようにしました。〈第2号〉〈第3号〉 ・地域で行われている多様な国際交流の様子を取り上げて、豊かな国際感覚が養われるようにしました。〈第5号〉	p.162-197 p.200-209
4年生の学習をふり返ろう SDGsとつなげて考えよう	・第4学年の学習をSDGsとつなげてふり返ることを通して、環境の保全に向けて意識を高め、社会に参画する態度が養われるようにしました。〈第4号〉〈第5号〉	p.214-215

## 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

### POINT! 全ての子どもが“学び”やすくするための配慮

#### 特別支援・人権教育への配慮

視覚や色覚、発達のあり方が多様であることを前提に、ユニバーサルデザインに配慮しています。

#### カラーユニバーサルデザインに配慮



色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすい配色にしています。また図版などは色だけでなく形や模様でも判別できるようにしています。

#### ユニバーサルデザインフォントを使用



本文には、ロービジョン(弱視)や読みに困難さがある学習障がいの子どもにも読みやすく配慮した「UDデジタル教科書体」を使用しました。

#### 感覚的に見やすく読みやすいデザインに配慮



資料のネームにカタカナの記号を付けて共通理解を図りやすくしました。折り返しの多い文章は、読みやすさを考慮して改行しています。

#### 社会の多様性に配慮



学習活動の場面では、性や国籍の違い、障がいの有無に関わらず多様な子どもが互いに協力し合いながら取り組む様子を描写しています。

## 造本上の工夫

### 判型



資料を大きく掲載できる幅広い判型です。ランドセルや机への収納にも配慮しました。

### 書体



フォントやポイントの違いにより、本文と資料、子どものノート例などを見分けやすくしています。

### 造本・用紙



年間の使用に耐えうる堅固な製本です。また、丈夫で軽量かつ写真や挿絵の表現力の高い再生紙を使用し、鮮明に印刷されています。

## POINT! 今日的な課題への配慮

### カリキュラム・マネジメントへの配慮



- 社会科と他の教科等との学習連携を示したイメージ図「他の教科などのかかわり」を掲載し、横断的な学びが意識されるようにしました。(p.5)
- 学年1冊の分冊は、年間を通したカリキュラム・マネジメントに活用しやすく、また、各単元の内容を関連づけながら学習を進めるうえで効果的です。



### 国旗の取り扱い



「アジアの中の福岡市」の地図上に各国の国旗を示し、側注欄で国旗のもつ意義や国旗は尊重されるべきものであることを記述しています。(p.205)



### 道徳教育との関連



人間の尊重や公共の精神、生命や自然に対する畏敬の念の涵養など、教科の特性に応じた道徳教育を行うことができます。(p.94-95)

### 防災・安全教育への対応



「自然災害にそなえるまちづくり」で、公助・共助・自助について考えることを通して、防災について、意識を高めることができました。(p.80-109)

### 国際理解・グローバル教育への対応



「国際交流がさかんなまちづくり」で、地域で行われている多様な国際交流の様子を取り上げて、国際理解が進み、多文化共生社会に向けた意識を高められるようにしました。(p.200-209)

### 教育のICT化への対応



- 紙面に印刷された二次元コードから、子ども自身が活用できるデジタル・コンテンツに簡単にアクセスできます。動画、ワークシート、資料の読み取り支援、クイズ式教材など豊富に揃えました。家庭での学習にも活用できます。
- タブレット型端末などICT機器を活用している学習の様子や学習の例を積極的に掲載しています。(p.2・3)(p.8)(p.42)(p.68)(p.69)(p.96)(p.129)(p.208)
- 学習者用デジタル教科書と教材、教科書に準拠した指導者用デジタル教科書を発行します。指導者用デジタル教科書には、動画、アニメーション、フラッシュ型教材などの各種のコンテンツや機能を搭載します。

## POINT! そのほかの取り組み

### 地図帳の活用



地図帳の使い方を詳しく解説したページを設けています。(p.10・11)

### 個に応じた学び



「もっと知りたい」ページは、意欲や関心に応じて、さらに広く、深く学習するときに活用することができます。(p.172・173)(p.174・175)(p.198・199)

### 第3学年からの接続



「前の学年をふり返ろう」は、第3学年の学習内容・活動を想起しながら、第4学年の学習への関心や期待を高めます。(p.4)



### ③ 対話的な学習を促し活発な表現活動につなげます。

#### ●対話的な学習の方法を多様に紹介する「まとめる」ページ

思考ツールを活用した表現活動など、学習内容に応じた方法を多様に紹介しました。対話的な学習を効果的に進めるうえで生かすことができます。

## 【特色2】「主体的に楽しく学べる」教科書

### ① 選んで活用できる教材やデジタル・コンテンツが関心や意欲を高めます。

#### ●地域の必要に応じて選択して活用できるページが充実

学習指導要領に例示されている選択肢の中から選んで活用するページが充実しています。

自然災害から  
人々を守る活動

p. 80~113

※「地震・津波災害」と「水害」を主に位置づけて同じボリュームで扱っています。

このほかにも「地域の発展に尽くした先人の働き」と「県内の特色ある地域の様子」の学習に、選択して活用できるページがあります。

※「水道」を主に位置づけて扱っています。

#### ●豊富なデジタル・コンテンツ

紙面に印刷された二次元コードから簡単にアクセスできます。子ども自身が活用できるコンテンツが豊富です。

全62コンテンツ  
(外部リンクを含む)

- 動画
- ワークシート
- 資料の読み取り支援
- クイズ式教材



ここからアクセス

## ② 「見通し」をもって追究を進められるようになっていきます。

### ● 追究の見通しの立て方を、 ていねいに例示

p. 33

みんなの疑問を一つの文に表して、クラスの学習問題をつりました。

みんなで作った学習問題  
わたしたちのくらから出たのは、どのようにして集められ、整理されるのだろう。

学習問題について予想したあとで、調べること調べ方をノートに書き  
ました。

ひらき出しのノート

調べること	調べ方
・ごみを収集する様子	→ ・収集の様子を観察する。
・ごみを分別したり、収集に出すとき	→ ・ごみの処理にかかわる仕事をして にきまりがたりするわけ
・ごみを処理するしつ々の役割と、	→ ・ごみを処理するしつ々の役割と、 処理のしかた

ひろとさんたちは、最初は何を調べたらよいかについて、それぞれの考えを話合いました。  
「まず、ごみを収集する場所へ行って、どのように収集しているかを見てみようよ。」  
「収集する係の人に、集めたごみをどこへ運んでいるのか、きいてみよう。」

学習問題をつくったあと、「予想」「調べること」「調べ方」について考え、追究の見通しを立てる場面を丁寧に例示しています。

### ● 各時間の学習段階を明示

つかむ  
調べる  
まとめる  
つなげる

この時間の問い  
わたしたちの地域では、過去にどのような地震や津波が起ったのだろう。

学習が「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」のどの段階にあるのかを毎時、確かめながら見通しをもって学習を進めることができます。「この時間の問い」の横に記載されています。

### ● 学年の学習をふり返る特設ページ

4年生の学習をふり返ろう  
自然災害にできるまづくり

① 国の地図を広げて  
② わたしたちの県のまづくり  
③ 自然災害にできるまづくり  
④ 地域で取ってあげたまづくり  
⑤ 昔から今と続くまづくり

p. 212・213

巻頭に「前の学年をふり返ろう」、巻末に「4年の学習をふり返ろう」のページを設けました。学習内容だけでなく、どのような「見方・考え方」を主に働かせて学んできたのかをふり返ることを示唆して、第5学年の学習に生かしていけるようにしています。

## ③ 「学び方」を学べます。

### ● タブレット型 端末の活用の しかたを解説 しています。

社会科の学習を広げる  
タブレット型コンピュータを動かそう

インターネットで検索する  
インターネットの地図を利用する  
写真や動画に記録する  
図表を共有する  
オンラインで  
インタビューする  
プレゼンテーション  
を作成する

p. 2・3

### ● 学習場面に応じた 「学びのてびき」 を適宜、提示して います。

学びのてびき  
二つの地図を  
関係つけて読み取る

① 土地利用図と地形図(p.16)を  
ならべて見てみる。  
② どのような地形がどんな土地に  
利用されているか読み取る。  
③ 土地利用と地形との関係に  
ついていえることを考える。

p. 18

19か所に  
掲載

## （特色3）「社会とつながる」子どもを育てる教科書

### ① 社会に生きる多様な人 たちの姿から学べます。

#### ● 「〇〇さんの話」

p. 167

新しいつわぶりににはげむ小野さんの話

わたしは、小原焼の伝統を守りながら、今の人の生活に合うような新しいつわぶりにちようせんしています。コーヒーカップやサラダボウルの他、アクセサリーや東峰村の木たコップも作りました。色や形も新

75か所に  
掲載

実際のインタビューに基づいているので臨場感が豊かです。

### ② 「持続可能な社会」の実現に向けた「選択・判断」や 「構想」などの場面を充実させました。

#### ● 学習段階「つなげる」

つかむ  
調べる  
まとめる  
つなげる

つなげる

社会的な「選択・判断」や、地域や社会のこれからについて「構想」する場面を、学習段階「つなげる」としてしています。  
(p.49, p.68-69, p.97, p.109, p.129)

#### ● 「SDGs とつなげて考えよう」

SDGs とつなげて考えよう

第4学年の学習を「持続可能な開発目標(SDGs)」の視点からふり返り、これからの地域や社会、暮らしのあり方について考えることができるようになりました。

p. 214・215

第4学年の学習を「持続可能な開発目標(SDGs)」の視点からふり返り、これからの地域や社会、暮らしのあり方について考えることができるようになりました。

# 検討の観点と内容の特色



観点	内容の特色
教育基本法・学校教育法との関係	・教育基本法第1条の教育の目的及び同法第2条に掲げられた教育の目標を達成できるよう編集されている。また、同法第5条第2項の義務教育の目的及び学校教育法第21条に掲げられた義務教育の目標並びに同法に定められた小学校の目的及び教育の目標を達成できるよう編集されている。
学習指導要領との関係	・学習指導要領の目標・内容・内容の取扱いに準拠し、内容をもれなく扱い、適切に単元が構成・配列されている。 ・社会の変化や課題に自ら対応していく資質や能力を育成するために、問題解決的な学習を基調として編集されている。
児童の発達段階に 対する工夫・配慮	・体験的な活動や、生活体験とつなげる考え方を重視して編集されていて、興味や関心を高めながら学習に臨めるようになっている。 ・グラフや地図、写真やイラストには適宜、着目ポイントが示されていて、資料の読み取りに困難が生じないようにしている。
主体的・対話的で深い学び の実現に向けた配慮	・「問題解決的な学習の充実」、「自己調整力の育成」、「思考力・判断力・表現力の育成」、「社会的な見方・考え方を働かせた学習」に配慮して編集されている(本表の下の各項目を参照)。
資質・能力への対応	・「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱を踏まえて編集されている(本表の下の各項目を参照。「学びに向かう力、人間性等」については「自己調整力の育成に向けた配慮」の項を参照)。
問題解決的な学習の充実 に向けた配慮	・小単元ごとに「みんなでつくった学習問題」、単位時間ごとに「この時間の問い」が例示されていて、問題解決的な学習の展開が促されるようになっている。 ・本時から次時へと学習をつなげる視点を示した「次につなげよう」が見開きページごとに掲載されていて、単元を通して追究の一貫性が保たれるようになっている。
自己調整力の育成に向けた 配慮	・見開きページごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」のどの場面を学んでいるのかを確かめられる「インデックス」が設けられていて、見通しをもって学習を進められるようになっている。 ・巻頭に問題解決的な学習の流れを一覧できる「社会科の学習の進め方」のページが設けられていて、学習の進め方について見通しをもつことができるようになっている。(p.6・7) ・「社会科の学習の進め方」の中に学び方を振り返る視点を示した「学習の進め方を振り返ろう」が掲載されていて、学習を自ら改善しながら進めていけるようになっている。(p.7) ・「つかむ」場面では、学習計画の立て方が丁寧に例示されていて、見通しをもった学び方を身につけられるようになっている。 ・巻末の「4年生の学習を振り返ろう」の中に、働かせてきた「見方・考え方」について振り返る視点が記載されていて、第5学年の学習に生かすことを促されるようになっている。(p.212・213)
思考力・判断力・表現力の 育成に向けた配慮	・「まとめる」ページでは、文章にまとめる、発表する、話し合うなどの多様な対話的な活動の例が紹介されていて、思考力・判断力・表現力が育成されるようになっている。 ・「つなげる」ページでは、社会的な「選択・判断」をしたり、地域のこれからについて「構想」したりする、取り組みやすくて多様な対話的な活動の例が紹介されている。(p.49, p.68・69, p.97, p.109, p.129)
知識・技能の定着に向けた 配慮	・問題を解決していくうえで重要な言葉である「キーワード」が、必要に応じて語句解説も加えて側注欄に記載されていて、学習内容の習得が図られるようになっている。 ・技能について解説した「学びのてびき」のコーナーが、学習活動の流れにそくして適宜設けられていて、学習を進めていくうえで必要な技能を系統的に習得できるようになっている。
「社会的な見方・考え方」を 働かせた学習	・巻頭に「社会的な見方・考え方」とはどのようなことかを、第4学年の内容にそくして捉えることができる「社会科で使う見方・考え方」のページが設けられていて、「見方・考え方」を働かせた学習が促されるようになっている。(p.5) ・「まとめる」ページでは、単元の学習で働かせた「見方・考え方」の例が、ふくろう博士のキャラクターのふきだしで示されている。(p.27, p.49, p.69, p.97, p.109, p.129, p.151, p.171, p.187, p.197, p.208)
地図帳の活用	・地図帳の活用を促すページが設けられている。(p.10・11, p.14)
ICT活用への対応	・タブレット型端末などICT機器の学習内容に応じた多様な活用の例や様子が、写真やイラストで紹介されている。(p.2・3, p.8, p.42, p.68, p.69, p.129ほか) ・教科書の紙面に印刷された二次元コードから、子ども自身が学習に活用できる動画、ワークシート、クイズ式教材などの多様なデジタル・コンテンツに簡単にアクセスできるようになっている。 ・学習者用デジタル教科書と教材、教科書に準拠した指導者用デジタル教科書が発行される。指導者用デジタル教科書には、動画などの各種のコンテンツや機能が搭載される。

他教科との関連	・社会科と他の教科等との学習連携を示したイメージ図「他の教科などのかかわり」が巻頭に掲載されていて、横断的に学習を進めていくべきことが意識されるようになっている。(p.5)
人権への配慮	・学習活動の場面では、性や国籍の違い、障がいの有無に関わらず多様な子どもが互いに協力しながら取り組む様子が描写されている。(p.もくじ、p.49、p.68・69ほか) ・「水害にそなえるまちづくり」の単元では、障がいのある人などに配慮した避難体制づくりに取り組んでいる市の事例が紹介されていて、様々な立場の人が共に生きる社会の形成に向けて意識を高められるようになっている。(p.103)
印刷・造本	・資料を大きく掲載できる幅広の判型であり、ランドセルや机への収納にも配慮されている。 ・年間の使用に耐えうる堅固な製本であり、丈夫で軽量かつ写真や挿絵の表現力の高い再生紙が使用されている。環境への配慮から、再生紙と植物油インキが使用されている。 ・表紙は抗菌加工されている。
書体・ポイント	・ユニバーサル・フォントの使用を基本とし、本文には、ロービジョン(弱視)や読みに困難さがある学習障がいのある子どもにも読みやすく配慮した「UDデジタル教科書体」が使用されている。 ・フォントやポイントの違いにより、本文と資料、子どものノート例などを見分けやすくしている。
表記・表現	・第3学年までの配当漢字は、漢字による表記が基本とされている。第4学年以上の配当漢字や固有名詞、社会科用語等には、見開きごとに「ふりがな」が付され、それとともに、平易な文章表現や語句解説により読解に負担がかからないよう配慮されている。 ・1文が数行にわたる場合には、読みやすい箇所で行改行されている。
特別支援教育に関わる配慮	・障がいの有無や特性の如何に関わらず、誰もが読みやすいユニバーサルデザインの考え方に基づいて紙面が作成されている。色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすい配色になっている。また図版などは色だけでなく形や模様でも判別できるようになっている。 ・見開きページごとに学習活動を3段階で示した「活動」を掲載して、誰にもわかりやすく学習の進め方が示されている。

## 2. 対照表

単元名・小単元名	学習指導要領の内容		該当ページ	配当時数	
○ 広げてみよう、市から県へ ○ みりょくがいっぱい! 知りたいな、47都道府県	(1)都道府県の様子	(1)-ア(ア)(イ)	p.8-9 p.10-13	3	
1 県の地図を広げて	(1)都道府県の様子	(1)-ア(ア)(イ)、イ(ア)	p.14-27	7	
2 健康なくらしとまちづくり	(2)人々の健康や生活環境を支える事業		p.28-79	29	
1 ごみはどこへ	廃棄物の処理	(2)-ア(イ)(ウ)、イ(イ)	p.30-49	15	
選択	2 水はどこから	飲料水	(2)-ア(ア)(ウ)、イ(ア)	p.50-71	14
	2 ぐらしと電気	電気	(2)-ア(ア)(ウ)、イ(ア)	p.72-77	-
3 自然災害にそなえるまちづくり	(3)自然災害から人々を守る活動		p.80-113	10	
選択	○ 地震にそなえるまちづくり	地震・津波災害	(3)-ア(ア)(イ)、イ(ア)	p.82-97	10
	○ 水害にそなえるまちづくり	水害	(3)-ア(ア)(イ)、イ(ア)	p.98-109	10
4 地域で受けつがれてきたもの	(4)県内の伝統や文化	(4)-ア(ア)(ウ)、イ(ア)	p.114-129	10	
5 昔から今へと続くまちづくり	(4)先人の働き	(4)-ア(イ)(ウ)、イ(イ)	p.130-159	13	
6 わたしたちの県のまちづくり	(5)県内の特色ある地域の様子		p.160-211	18	
1 焼き物を生かしたまちづくり	地場産業	(5)-ア(ア)(イ)、イ(ア)	p.162-171	6	
選択	2 昔のよさを未来に伝えるまちづくり	伝統的な文化	(5)-ア(ア)(イ)、イ(ア)	p.176-187	6
	2 自然を生かしたまちづくり	自然環境	(5) ア(ア)(イ)、イ(ア)	p.188-197	6
3 国際交流がさかんなまちづくり	国際交流	(5)-ア(ア)(イ)、イ(ア)	p.200-211	6	
			計	90	